

# 産学連携 ハイバック回転座椅子 取扱説明書

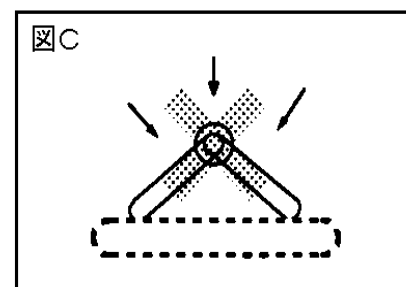
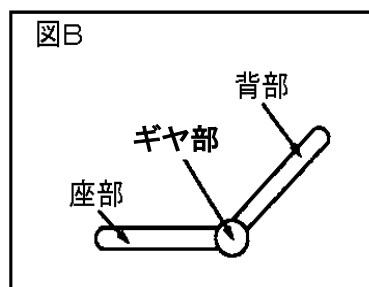
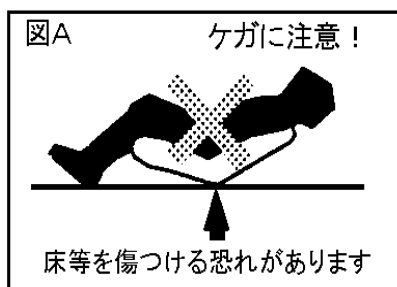
この度は「産学連携 ハイバック回転座椅子」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
安全にご使用いただくため、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
また、この「取扱説明書」は必ず保管し、必要なときにお読みください。

ご使用前にお読みください。

この商品は、使用していますウレタンフォーム、接着剤によりにおいを感じる場合があります。  
その場合は十分に換気をしてください。または、風通しの良いところで陰干ししてください。  
徐々ににおいは弱くなります。

### <使用上のご注意>

- ・側地カバーは洗濯できません。
- ・側地カバーのファスナーは製造都合のものなので開けないでください。
- ・側地カバーが片寄ったときには、座椅子を平らな状態にして、側地カバーを整えてください。
- ・座椅子の目的以外に使用しないでください。また、座椅子の座面以外には絶対に座らないでください。
- ・座椅子の座面、背の各部には絶対に立ち上がらないでください。転倒し、ケガや破損の原因になります。
- ・座椅子の上に乗ったり、飛び跳ねたりしないでください。転倒し、ケガや破損の原因になります。
- ・図Aのように座椅子の背もたれを後方に傾けるような座り方はお避けください。転倒や破損の原因になります。
- ・同時に二人以上で使用しないでください。
- ・座椅子の背もたれに強い衝撃をかけたり、図Aの状態にしてシーソーのように使用したりしないでください。転倒したり、床面を傷つけたり、ケガや器具の破損の原因になります。
- ・乳幼児の一人での使用や、仮寝のベッドがわりの使用はお避けください。窒息やケガの原因になります。
- ・床面の平らなところで水平になるように使用してください。ガタツキ、転倒、変形の防止になります。
- ・高温多湿のところでのご使用はお避けください。カビやダニの発生の原因になります。
- ・直射日光の当たるところや、冷暖房機器の吹き出し風の当たるところ、器具の近くでのご使用はお避けください。変色、劣化の原因になります。
- ・構造上、回転盤は座っていないときには回転しにくくなっています。特に摩擦の少ないフローリングや畳の床面では回転しにくくなるので、ジュタンやカーペット等の敷物を敷いてご使用ください。床面や畳のキズ防止にもなります。
- ・素肌や衣服が濡れた状態でのご使用はお避けください。側地カバーのシミ、汚れや劣化の原因になります。
- ・ギヤでリクライニングする部分には手や足を入れたり、立ったり座ったりしないでください。ケガをする恐れがあります。(図B参照)
- ・図Cの状態です矢印の方向に荷重をかけないでください。破損の原因になります。



### <お手入れ方法>

著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤や漂白剤、化学雑巾等は使用しないでください。側地カバーの変色や色落ち、劣化の原因になります。なお、本体に最初からかぶせてある側地カバーを取り外して洗濯しないでください。破損の原因になります。

## <ヘッドレスト部、背もたれ、脚部の角度調節方法> ※下記の図をご参照ください。

ヘッドレスト部は手で前後無段階に調節できますが、背もたれや脚部のようにロックはしません。また、調節するときに音はしません。ヘッドレスト部に力が加わると角度が変わります。(図2参照)

【角度を上げる場合】背もたれと脚部は直角に近い方向へ順に動かします。(図3、図4参照)

※角度を上げている途中でその位置より下の角度へ動かすことはできません。

【角度を下げる場合】背もたれは解除の位置まで角度を上げたあと、使用したい位置の近くまで角度を下げ、そこから再度角度を上げてギヤをロックしてください。脚部は頂点まで角度を上げたあと、さらに解除の位置まで動かしてロックを解除します。そのあと、スタートの位置までしっかりと戻し、再度ロックが可能になる“カチツ”という音を確認してから角度を上げて調節してください。

※脚部を調節する際は、左右のギヤがスタートの位置に戻る“カチツ”という音を必ず確認してください。

音がする位置までしっかり伸ばさないと、角度を上げてギヤはロックしません。

※ギヤは左右2ヶ所にあります。両側のギヤを必ず“カチツ”と音がする位置に戻してから調節し、操作した左右のギヤ両方が同じ角度でロックしていることを確認してからご使用ください。

図1 全体図

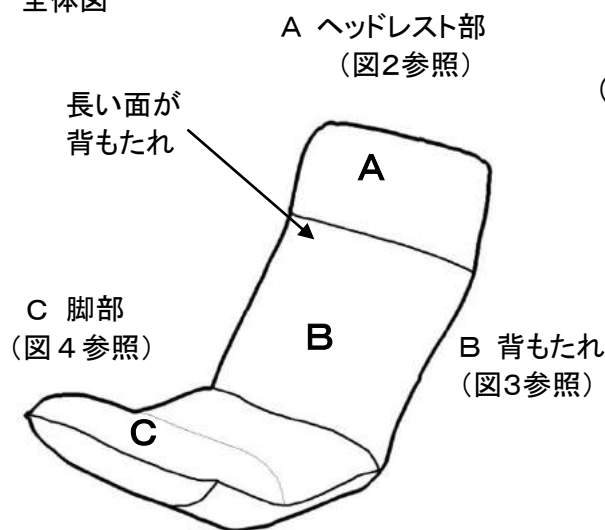


図2 A ヘッドレスト部の角度調節  
手動で前後に無段階調節(音はしません)  
(ロックはせず、頭で強く押すと後方に動く構造)

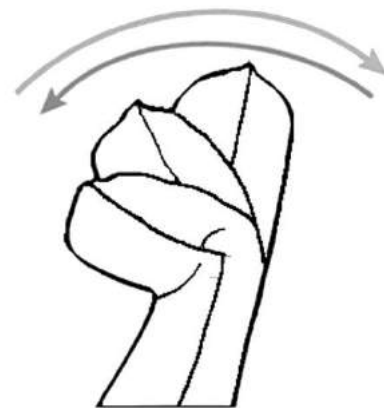


図3 B 背もたれの角度調節  
手動で41段階調節  
(一度水平に戻さなくても角度調節可能)

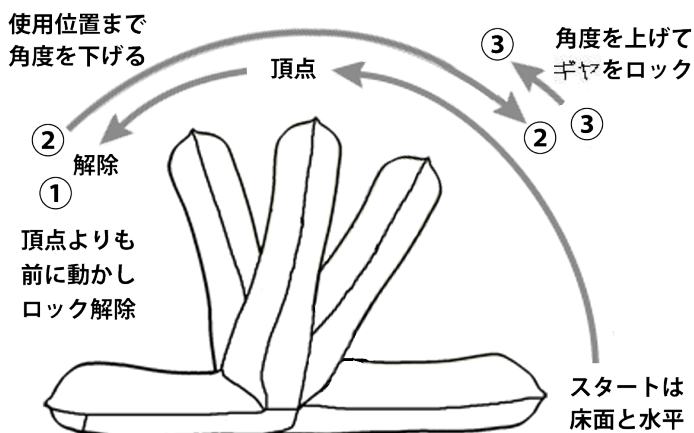
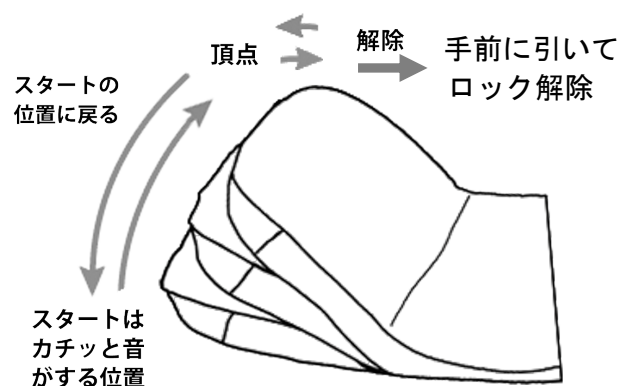


図4 C 脚部の角度調節  
手動で6段階調節  
(一度水平に戻してから角度調節)







### 《ヘッドレスト部角度調節についてのご注意》

背もたれ部の側地カバーを座面方向にずらすような座り方や側地カバーが座面方向にずれた状態でのご使用はお避けください。側地カバーの張力でヘッドレスト部が前方向へ動く場合があります。その場合には、座椅子を一度水平に伸ばし、側地カバーを整えてから再度ご使用ください。また、頭を押しつけるとヘッドレスト部は後方に動きます。あらかじめご了承ください。

# 各部リクライニング操作方法の補足





ギヤの構造上、ヘッドレスト部は最初リクライニング時に抵抗が大きく、調節しにくい場合があります。また、背もたれ部と脚部では角度を下げる場合の操作方法が違い、わかりにくい場合があります。そのような場合は、各部のリクライニングの操作方法を参照しながらリクライニング操作をしてください。

## 【ヘッドレスト部リクライニングの操作方法】（画像は操作イメージです。）

<p>①座面を両膝で押さえて、背もたれをリクライニングします。このとき膝がパイプやギヤに当たらないようご注意ください。</p>  <p>図1 図2</p>	<p>②背もたれの上の部分を両手で持ち、手前に引きつけたあと、ヘッドレスト部を上から押すように操作してリクライニングします。</p>  <p>図3 図4</p>
<p>③背部のギヤをカチッと音がするスタートの位置まで戻します。戻したあとにヘッドレスト部のリクライニング操作をします。</p> <p>パイプフレーム部分を上から押さないようにパイプフレーム部分の前方向に手のひらの下側をあてる 腕をしっかり伸ばす</p>  <p>前方向 前方向から押す</p> <p>図5</p>	<p>④ヘッドレスト部を元に戻します。</p> <p>パイプフレーム部分の前方向に手のひらの下側をあて、腕を伸ばし、前から体重をかけて押すイメージで操作</p>  <p>図6</p>

この操作を何度か行くと、ヘッドレスト部リクライニング時の抵抗が減り、動かしやすくなります。

また、ヘッドレスト部リクライニングは、下図のような方法での調節も可能です。調節するときには、力を入れやすい中央付近を操作してください。

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> 	<p>④</p> 
---	--	---	--

上記の方法でリクライニング操作ができないときには、座面を両膝で押さえて操作する方法で行ってください。

# 【背もたれリクライニングの操作方法】(画像は操作イメージです。)

①お届けした座椅子は水平にできます。

カチッと音のする  
位置でギヤが  
止まります。



左右のギヤ  
両方から  
音がします。

②左右のギヤが同時に動くように操作してください。

背の中央を  
操作すると  
左右ギヤが  
均等に動き  
ます。



片方だけが  
ロックした状態  
で使用すると  
故障の原因に  
なります。

\* 角度を下げるときは下図をご参照ください。

③解除の位置までしっかりと押してください。

ストッパー機能  
がありますから、  
止まるまで前に  
押してください。



解除位置まで  
前に押したあと、  
水平の方向に  
戻ります。

④使いたい角度まで背もたれを戻します。

使いたい角度の  
少し下の角度に  
戻してください。



スムーズに操作  
しないと、戻す  
途中でロックする  
場合があります。

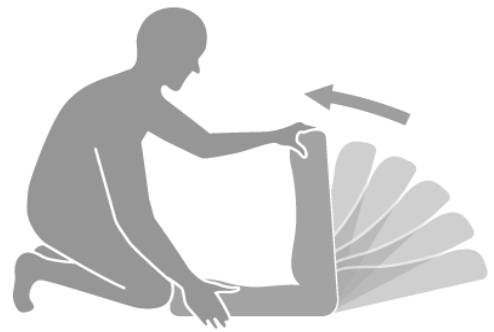
⑤背もたれを少し上げてロックします。

ロックする音を  
確認しながら  
ゆっくりと操作  
してください。



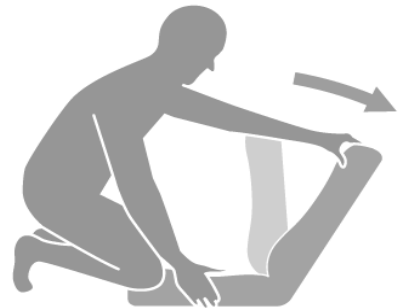
もう一度角度を  
変えるときには  
③に戻って操作  
してください。

## 操作方法



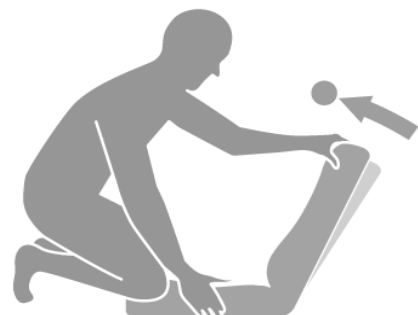
### 1 解除

背もたれを手前に倒して  
ロックを解除します。



### 2 フリー

背もたれをお好みの  
角度にあわせます。



### 3 ロック

背もたれを少し引いて  
ロックさせます。

## 【脚部リクライニングの操作方法】(画像は操作イメージです。)

①座椅子に座ります。座椅子の背もたれが直角に近いと操作しにくいので、操作しやすい角度に調節してください。



側面図1

斜図1

②左右両側内部スチールパイプがある位置を両手で持ちます。



側面図2

斜図2

③両手で引き上げ、解除の位置まで角度を上げます。



側面図3

斜図3

④両手でゆっくり操作し、カチッという音がするスタートの位置までしっかりと押し伸ばして戻します。



側面図4

斜図4

また、脚部リクライニングは、下図のような方法での調節も可能です。  
調節するときには、左右のギヤが同時に動くように中央付近を操作してください。

①



②



③



④



上記の方法でリクライニング操作ができないときには、座って操作する方法で行ってください。

# 回転機能についてのご注意

安全にご使用いただくため必ずお読みください。

ご使用の際には、回転盤の前方が床面から浮き上がらないようにご注意ください。回転盤の前方が浮き上がった状態でご使用になると、商品の故障や床面のキズ、転倒してケガや器具の破損の原因になります。特に背もたれの角度が水平に近い角度の場合には十分に注意してご使用ください。

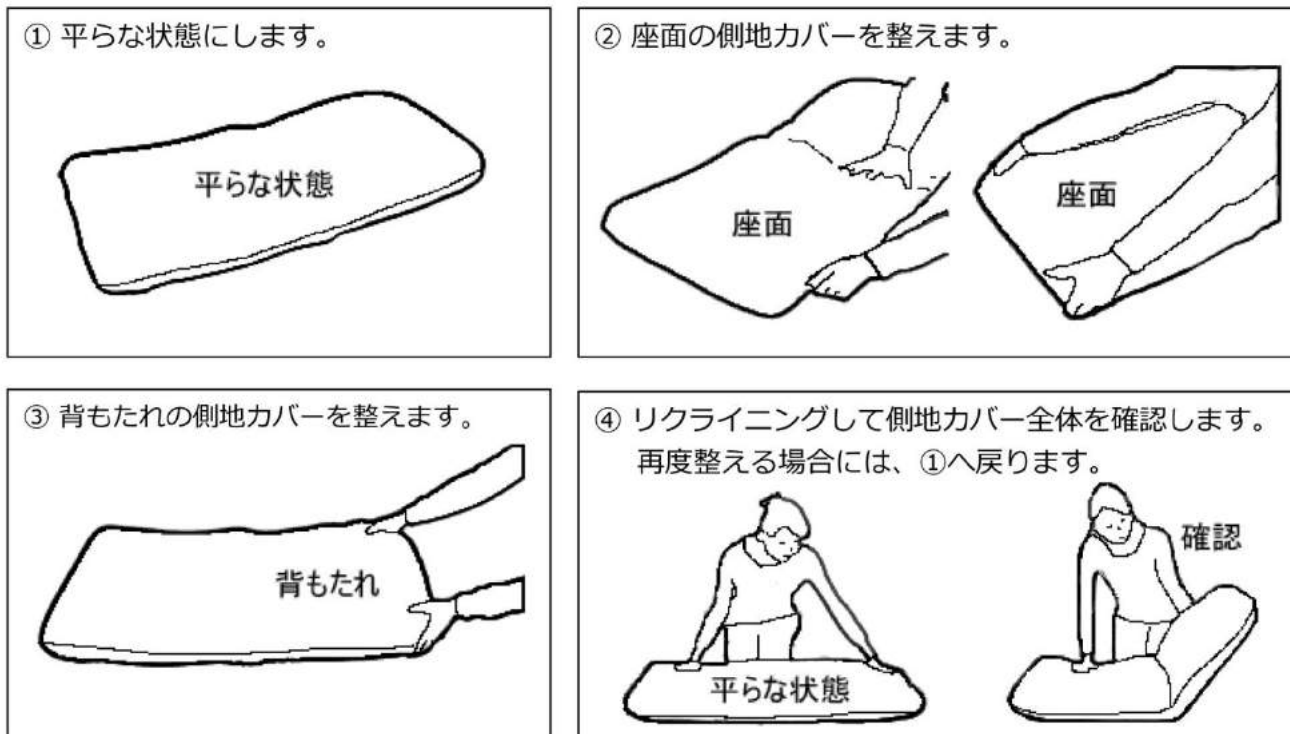
## 側地カバーのお手入れについて

外観・座り心地・機能を保つため、側地カバーのお手入れをおすすめします。

ご使用の状況によっては、側地カバーが片寄ることがあります。そのままご使用になると、側地カバーが大きく片寄り、不具合が起こることもあります。側地カバーが片寄ったときには、片寄りが大きくなる前に側地カバーを整えてください。

側地カバーを整えるときのご注意！

- ・側地カバーは本体から取り外さないでください。
- ・側地カバーを整えるときは、ケガや破損に注意して、無理な力を入れずに整えてください。
- ・側地カバーを整えるときは、部分的に整えてから全体を整えてください。



\* イラストはイメージです。

側地カバーの汚れの落とし方

- ・毛髪やホコリなどは粘着テープクリーナーで取ってください。
- ・著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。
- ・シンナー、化学雑巾等は使用しないでください。側地カバー劣化の原因になります。

品質表示

外形寸法	幅 510mm×奥行 650(650~1210)mm×高さ 760mm 座面の高さ 150mm
構造部材	金属(鋼)
張り材	ポリエステル100%
クッション材	ウレタンフォーム
回転盤	ポリプロピレン樹脂
原産国	日本

当社の製品は品質検査を経て製作しておりますが、万が一不具合等ございましたら  
お買い上げいただいた販売店までご連絡をお願いいたします。

**Yamazaki**



製造元 株式会社ヤマザキ

〒350-0276 埼玉県坂戸市戸口439-1